

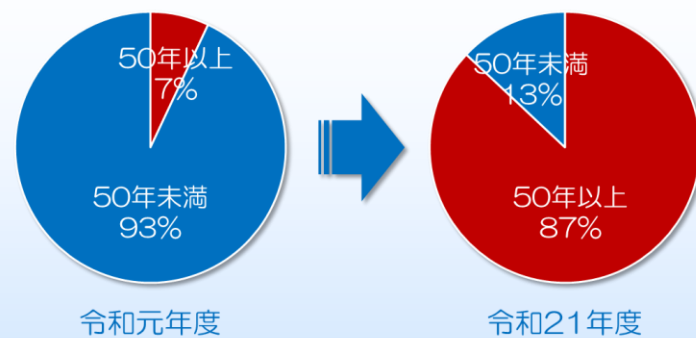
泉南市 橋梁の長寿命化修繕計画

背景・目的

泉南市では、令和元年度現在、市道に架かる橋長2m以上の83橋を道路橋として管理していますが、古い橋が多く、20年後には全体の約87%が架橋後50年を迎えることとなります。

一方、今後の交通量の増加や車両の大型化、橋や道路も老朽化が進むに従い傷みもひどくなり、市民活動を支える橋や道路を取り巻く環境は今後ますます厳しさを増すものと考えられます。あわせて、これらの高齢化を迎える橋に対して、従来の『悪くなってから対策をとる』という事後保全型の維持管理を続けた場合、橋の修繕・架け替えに要する費用が増大することが懸念されます。

そこで本市では、事後保全型の維持管理から、『傷みが小さい時から計画的に補修する』という予防保全型の維持管理手法に移行することとし、「橋梁の長寿命化修繕計画」を策定しました。これにより、橋の修繕・架け替えに要する費用を軽減させると共に泉南市の安全安心な道路ネットワークを維持することが可能となります。



計画の対象とした橋

令和元年度に本市が管理する83橋を対象として、平成30年度までに実施した定期点検の結果を基に、長寿命化修繕計画を策定しました。

橋の点検と管理

次のような方法で橋の点検および管理を行います。

1. 定期点検の実施方針
定期点検は5年に一度、専門知識を有する者による詳細点検を行います。
2. 健全度の把握の基本的な方針
定期点検及び日常的な維持管理により、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握します。
3. 日常的な維持管理に関する基本的な方針
車、徒歩による橋面・付属施設の変状について点検を行います。
特に、排水施設については、近接目視により詰まりや損傷を確認します。
点検の結果、不具合がある場合は迅速に清掃、補修等を実施します。

本計画による修繕の内容

策定した計画に基づき、橋の塗装の塗替えや傷んだ箇所の補修、橋の架け替え更新などを計画的に順次実施します。

主な傷みの例

ひびわれ



鉄筋の露出



橋面舗装ひびわれ



腐食（塗装劣化）



本計画実施による効果

※83橋の計画策定結果による

本計画を実施することで、橋の寿命を10年から50年以上延命できることが見込まれ、全橋梁が予防保全管理型に移行した場合には100年以上に延ばすことも可能といわれています。また、今後50年間の修繕費用を比較すると、橋を維持する費用も総額29億円から18億円程度に節約できる試算となり、大幅なコスト削減が期待されます。

事後保全型管理

悪くなってから対策

29億円

予防保全型管理

傷みが小さいときから計画的に補修

18億円

今後50年間の
修繕費用比較

11億円の
コスト削減

今後の方針

本計画に基づいて橋の点検、維持、対策を繰り返し行うことにより、橋の適切な管理を積極的にすすめ、経済的に安全安心な道路ネットワークを維持するように努めていきます。

また、本計画を、より現実的に即した計画とするため、持続的に橋梁の状況を確認し、定期的な更新を行います。